○更新時講習実施規程

北海道警察本部告示第26号

平成6年5月10日

改正 平成8年8月28日北海道警察本部告示第64-5号、14年5月31日第92号、16年4月1日第49号、22年10月29日第375号、24年10月2日第357号、25年12月27日第427号、28年3月18日第144号、31年3月8日第138号、令和3年3月30日第178号、5年6月30日第371号

道路交通法の規定に基づく講習に関する規則（平成元年北海道公安委員会規則第9号）の規定に基づき、更新時講習実施規程を次のように定める。

更新時講習実施規程

（趣旨）

第1条 この規程は、道路交通法の規定に基づく講習に関する規則（平成元年北海道公安委員会規則第9号。以下「規則」という。）第7章の規定による更新時講習（以下「講習」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

（講習実施基準）

第2条 講習は、別表の更新時講習実施基準に従い、実施するものとする。

（講習方法）

第3条 講習方法は、前条に定めるもののほか、次に定めるとおりとする。

(1) 使用する教材は、教本等の資料及び危険予測、事故事例等に関する視聴覚教材とし、北海道警察本部交通部長（以下「交通部長」という。）が指定するものとする。ただし、これを補充する資料として交通部長若しくは方面本部長又は警察署長が作成する資料等を用いることができるものとする。

(2) 普通教場での集合講習とし、講習指導員が講義式で行うものとする。

（講習会場）

第4条 規則第34条第1項に規定する講習の会場は、講習の効果及び受講者の利便を考慮して設定するものとする。

2 前項の講習会場には、北海道公安委員会又は方面公安委員会（以下「公安委員会」という。）が行う講習であることを明示するため、各会場の入口に「更新時講習会場〇〇公安委員会」と看板等で表示するものとする。

（講習実施責任者）

第5条 講習の実施の委託を受けた者（以下「受託者」という。）は、講習会場ごとに次に定めるところにより、講習実施責任者を置くものとする。

(1) 安全運転学校で実施する講習は、当該安全運転学校の長とする。

(2) 安全運転教室及びその他の場所で実施する講習は、当該講習の講習指導員とする。

2 講習実施責任者は、講習の実施に関する事務を適正に行うとともに、講習会場に係る施設について管理し、講習が効果的かつ適切に行われるようにしなければならない。

（講習計画の承認）

第6条 規則第48条に規定する管理者（以下「管理者」という。）は、受託に係る講習に関し、更新時講習実施計画書（別記第1号様式）により、受託契約締結後速やかに、年間の講習計画を策定し、規則第50条の規定による承認を受けなければならない。

2 管理者は、北海道警察本部交通部運転免許センター運転免許試験課長又は方面本部の交通課長（以下「本部主管課長」という。）と協議の上、1月ごとに更新時講習実施細目計画書（別記第2号様式）により月間講習計画を策定し、本部主管課長に送付するものとする。

3 管理者は、前項の計画を策定するに当たっては、講習会場を管轄する警察署長と調整を行うものとする。

第7条 削除

（特別学級の編成）

第8条 各区分の講習においては、受講者の態様に応じた効果的な講習を推進するため、次に掲げる態様別の特別学級を編成して行うよう努めるものとする。

- (1) 若年学級 年齢25歳未満の若年運転者を対象とする学級
- (2) 高齢学級 年齢65歳以上70歳未満の高齢運転者を対象とする学級
- (3) 二輪学級 大型自動二輪車、普通自動二輪車若しくは原動機付自転車免許のみを保有している運転者又は日常的に大型自動二輪車、普通自動二輪車若しくは一般原動機付自転車を運転している者を対象とする学級

(講習済の表示等)

第9条 規則第36条の規定による講習済の記載は、講習を終了した者に対し、講習会場において免許証の裏面の備考欄に「更新時講習済〇年〇月〇日〇〇公安委員会」と記載するものとする。ただし、その者が免許証を所持していない場合等は、更新時講習受講証明書（別記第3号様式）を交付するものとする。

(受託する事務の範囲)

第10条 受託者が行う講習の実施に関する事務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 講習会場における受講者の受付
- (2) 講習の実施に必要な施設及び教材等の提供
- (3) 講習の実施
- (4) 講習済の表示又は受講証明書の交付
- (5) 前各号の事務に付随する事務

(結果報告)

第11条 警察署長は、その月の実施結果を更新時講習実施結果報告書（別記第4号様式）により、翌月10日までに交通部長又は方面本部長に報告しなければならない。

2 管理者は、その月の講習の実施に関する業務の実施結果を更新時講習結果報告書（別記第5号様式）により、翌月10日までに交通部長又は方面本部長に報告しなければならない。

(簿冊の備付)

第12条 受託者は、次に掲げる簿冊を備え付け、講習事務の実施状況を明らかにしておかなければならない。

- (1) 更新時講習実施計画書
- (2) 更新時講習実施細目計画書
- (3) 更新時講習受講者名簿（別記第6号様式）
- (4) 更新時講習業務日誌（別記第7号様式）
- (5) 講習指導員名簿（別記第8号様式）
- (6) その他委託に関する関係書類

2 前項の簿冊を保存すべき期間は、委託事務を完了した日の属する年度の翌月から2年間とする。

附 則

- 1 この規程は、平成6年5月10日から施行する。
- 2 更新時講習実施規程（平成2年北海道警察本部告示第24号）は、廃止する。

附 則〔平成8年北海道警察本部告示第64-5号〕

この規程は、平成8年9月1日から施行する。

附 則〔平成14年北海道警察本部告示第92号〕

この規程は、平成14年6月1日から施行する。

附 則〔平成16年北海道警察本部告示第49号〕

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則〔平成22年北海道警察本部告示第375号〕

この規程は、平成22年10月29日から施行する。

附 則〔平成24年北海道警察本部告示第357号〕

この規程は、平成24年10月2日から施行する。

附 則〔平成25年北海道警察本部告示第427号〕

この規程は、平成25年12月27日から施行する。

附 則〔平成28年北海道警察本部告示第144号〕

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則〔平成30年北海道警察本部告示第138号〕

この規程は、平成30年3月8日から施行する。

附 則〔令和3年北海道警察本部告示第178号〕

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行の際現に第1条の規定による改正前の道路交通法施行細則実施規程、第2条の規定による改正前の取消処分者講習実施規程、第3条の規定による改正前の初心運転者講習実施規程、第4条の規定による改正前の安全運転管理者等講習実施規程、第5条の規定による改正前の原付講習実施規程、第6条の規定による改正前の更新時講習実施規程、第7条の規定による改正前の特定任意講習実施規程、第8条の規定による改正前の違反者講習実施規程、第9条の規定による改正前の停止処分者講習実施規程、第10条の規定による改正前の高齢者講習実施規程、第11条の規定による改正前の特定任意高齢者講習等実施規程及び第12条の規定による改正前の免許取得時講習実施規程に基づき作成された様式用紙に残部のある場合は、必要な調整を加え、当分の間これを使用することができる。

附 則〔令和5年北海道警察本部告示第371号〕

- 1 この規程は、令和5年7月1日から施行する。

別表（第2条関係）

更新時講習実施基準

第1 優良運転者講習

講習科目	講習細目	講習時間	講習方法
1 道路交通の現状と交通事故の実態	(1) 地域における車社会の実態 ○ 北海道の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。 (2) 交通事故の特徴 ○ 地域における事故多発路線、時間帯、事故類型原因等について、事故事例と併せて説明する。	10分	○ 講義（教本、視聴覚教材等）
2 運転者の心構えと義務	(1) 無事故・無違反の奨励 ○ 今後における無事故・無違反、安全運転を奨励する。 (2) シートベルト、ヘルメットの着用 ○ シートベルト、ヘルメットの着用に関し、その必要性和効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。 (3) 交通事故を起こした加害者の責任 ○ 交通事故を起こしたり違反行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。 (4) 交通事故を起こした運転者の義務 ○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止義務について説明する。 (5) 負傷者の救護措置 ○ 救急車が到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。	10分	
3 安全運転の知識	最近において改正が行われた道路交通法令の知識 ○ 受講者の前回の更新後において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の要点を説明する。	10分	

第2 一般運転者講習

講習科目	講習細目	講習時間	講習方法
1 道路交通の現状と交通事故の実態	(1) 地域における車社会の実態 ○ 北海道の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。 (2) 交通事故の特徴 ○ 地域における事故多発路線、時間帯、事故類型原因等について、事故事例と併せて説明する。	10分	○ 講義（教本、視聴覚教材等）
2 運転者の心構えと義務	(1) 安全運転の心構え ○ 運転者には、交通ルールを守り、常に細心の注意を払って、他人に危害を与えないような速度と方法で自動車等を運転しなければならない義務のあることを指導する。 (2) シートベルト、ヘルメットの着用	10分	

	<ul style="list-style-type: none"> ○ シートベルト、ヘルメットの着用に関し、その必要性と効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。 (3) 交通事故を起こした加害者の責任 <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故を起こしたり違反行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。 (4) 交通事故を起こした運転者の義務 <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止義務について説明する。 (5) 負傷者の救護措置 <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急車が到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。 		
3 安全運転の知識	<ul style="list-style-type: none"> (1) 最近において改正が行われた道路交通法令の知識 <ul style="list-style-type: none"> ○ 受講者の前回の更新後において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の要点を説明する。 (2) 危険予測と回避方法等 <ul style="list-style-type: none"> ○ DVD等の視聴覚教材を活用し、交差点通行、夜間走行、高速道路、通行等に関する具体的な危険場面を示して、事故原因となる危険行為、危険予測と回避方法等について理解させる。 	20分	
4 運転適性についての診断と指導	<ul style="list-style-type: none"> (1) 運転適性診断と指導 <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全運転自己診断等により適性検査を実施し、自らの運転特性を客観的に評価して自覚させ、結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。 (2) まとめ <ul style="list-style-type: none"> ○ 診断結果に基づくタイプ別の具体的な安全運転のコツを指導し、安全運転態度を実行するための動機付けを行う。 	20分	○ 講義（運転適性検査用紙等）

第3 違反運転者講習

講習科目	講習細目	講習時間	講習方法
1 道路交通の現状と交通事故の実態	<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域における車社会の実態 <ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。 (2) 交通事故の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における事故多発路線、時間帯、事故類型原因等について、事故事例と併せて説明する。 	10分	○ 講義（教本、視聴覚教材等）
2 運転者の心構えと義務	<ul style="list-style-type: none"> (1) 安全運転の心構え <ul style="list-style-type: none"> ○ 運転者には、交通ルールを守り、常に細心の注意を払って、他人に危害を与えないような速度と方法で自動車等を運転しなければならない義務のあることを指導する。 (2) シートベルト、ヘルメットの着用 <ul style="list-style-type: none"> ○ シートベルト、ヘルメットの着用 	10分	

	<p>に關し、その必要性と効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。</p> <p>(3) 交通事故を起こした加害者の責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故を起こしたり違反行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。 <p>(4) 交通事故を起こした運転者の義務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止について説明する。 <p>(5) 負傷者の救護措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急車が到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。 		
3 安全運転の知識	<p>(1) 安全運転の基礎知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受講対象に応じたDVD等の視聴覚教材を活用し、安全運転、運転特性等についての理解を深めさせる。 <p>(2) 最近において改正が行われた道路交通法令の知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受講者の前回の更新後において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の要点を説明する。 <p>(3) 危険予測と回避方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ DVD等の視聴覚教材を活用し、交差点通行、夜間走行、高速道路、通行等に関する具体的な危険場面を示して、事故原因となる危険行為、危険予測と回避方法等について理解させる。 ○ 身近な事故事例の説明を行い、それに基づく問題点、なぜ事故が起きたのか、どうすれば回避できたかなどについて、自ら考えさせ意見を出させ討論させる。 	40分	
4 運転適性、技能についての診断と指導	<p>(1) 運転適性診断と指導（検査用紙使用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全運転自己診断等により実施し、自らの運転特性を自覚させ、結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。 <p>(2) 運転適性診断と指導（検査機器使用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ CRTによる運転適性検査器を使用して、運転行動に必要な基本的動作機能を検査し、その診断結果に基づいて安全指導する。 <p>(3) 安全運転態度の診断と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診断用模擬運転装置を使用して、危険予測を中心とした安全運転態度と運転個癖を検証し、その診断結果に基づいて安全指導する。 <p>(4) 運転技能診断と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導員が同乗して車両を運転させ、運転個癖や運転技能を診断し、その結果に基づき安全指導する。 	60分	○ 実技等(教本、運転適性検査器材等)

注 講習科目4の講習細目は、重点を絞り選択して実施すること。

第4 初回更新者講習

講習科目	講習細目	講習時間	講習方法
1 道路交通の現状と交通事故の実態	(1) 地域における車社会の実態 ○ 北海道の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。 (2) 交通事故の特徴 ○ 地域における交通事故多発路線、時間帯等と運転経験の浅い運転者による交通事故類型、原因等について、事例と併せて説明する。	10分	○ 講義（教本、視聴覚教材等）
2 運転者の心構えと義務	(1) 安全運転の心構え ○ 運転者には、交通ルールを守り、常に細心の注意を払って、他人に危害を与えないような速度と方法で自動車等を運転しなければならない義務があることを指導する。 (2) シートベルト、ヘルメットの着用 ○ シートベルト、ヘルメットの着用に関し、その必要性と効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。 (3) 交通事故を起こした加害者の責任 ○ 交通事故を起こしたり違反行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。 (4) 交通事故を起こした運転者の義務 ○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止義務について説明する。 (5) 負傷者の救護措置 ○ 救急車が到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。	10分	
3 安全運転の知識	(1) 安全運転の基礎知識 ○ 運転経験の浅い運転者向けのDVD等の視聴覚教材を活用し、安全運転、運転特性等についての理解を深めさせる。 (2) 最近において改正が行われた道路交通法令の知識 ○ 最近において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の要点を説明する。 (3) 危険予測と回避方法等 ○ DVD等の視聴覚教材を活用し、交差点通行、夜間走行、高速道路、通行等に関する具体的な危険場面を示して、事故原因となる危険行為、危険予測と回避方法等について理解させる。 ○ 運転経験の浅い運転者の特徴的な事件事例の説明を行い、それに基づく問題点、なぜ事故が起きたのか、どうすれば回避できたかなどについて、自ら考えさせ意見を出させ討論させる。	40分	

<p>4 運転適性、技能についての診断と指導</p>	<p>(1) 運転適性診断と指導（検査用紙使用） ○ 安全運転自己診断等により実施し、自らの運転特性を自覚させ、結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。</p> <p>(2) 運転適性診断と指導（検査機器使用） ○ C R Tによる運転適性検査器を使用して、運転行動に必要な基本的動作機能を検査し、その診断結果に基づいて安全指導する。</p> <p>(3) 安全運転態度の診断と指導 ○ 診断用模擬運転装置を使用して、危険予測を中心とした安全運転態度と運転個癖を検証し、その診断結果に基づいて安全指導する。</p> <p>(4) 運転技能診断と指導 ○ 指導員が同乗して車両を運転させ、運転個癖や運転技能を診断し、その結果に基づき安全指導する。</p>	<p>60分</p>	<p>○ 実技等(教本、運転適性検査器材等)</p>
----------------------------	---	------------	----------------------------

注 講習科目4の講習細目は、重点を絞り選択して実施すること。

別記第1号様式（第6条関係）

更 新 時 講 習 実 施 計 画 書					
			年 月 日		
公安委員会 殿		受託者(管理者) 所 在 地 氏名又は名称			
道路交通法の規定に基づく講習に関する規則第7章による更新時講習を次のとおり実施することとしたので、承認願いたく計画書を提出します。					
実 施 月 日		実 施 場 所 (講 習 会 場 名)	講 習 体 制		備 考
月 別	回 数		講 習 指導員数	補 助 者 数	
4 月					
5 月					
6 月					
7 月					
8 月					
9 月					
10月					
11月					
12月					
1 月					
2 月					
3 月					
計					

- 注1 講習の区分ごとに別葉とすること。
 2 実施計画は、年間計画とする。
 3 規格は、A列4番横長とする。

別記第2号様式(第6条関係)

更新時講習実施細目計画書 (月分)					年 月 日			
公安委員会 殿			受託者(管理者)					
			所在地					
			氏名又は名称					
<p>道路交通法の規定に基づく講習に関する規則第7章による更新時講習を次のとおり実施することとしたので、計画書を提出します。</p>								
実施期間				実施場所 (講習会場名)	講習体制		講習実施 責任者	備考
月	別	開始 時間	終了 時間		講習 指導員数	補助 者数		

- 注1 講習場所が複数であるとき及び講習の区分ごとに別葉とすること。
 2 実施計画は、月間計画とする。
 3 規格は、A列4番横長とする。

更 新 時 講 習 受 講 証 明 書

氏 名

上記の者は、 年 月 日更新時講習を受講したことを証する。

〇〇公安委員会

注 規格は、縦5.5センチメートル、横10センチメートルとする。

第 号
年 月 日

交 通 部 長 殿
(方面本部長)

警 察 署 長

更新時講習実施結果報告書(月分)

優良運転者講習		一般運転者講習		違反運転者講習		初回運転者講習		計	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員

施設立入回数	冒 頭 講 話 実 施 回 数					
	署 長	副 署 長	交通(地交)官	課 長	係長以下	計

注 規格は、A列4番縦長とする。

別記第5号様式(第11条関係)

更 新 時 講 習 結 果 報 告 書

年 月 日

公安委員会 殿

受託者(管理者)

所 在 地

氏名又は名称

道路交通法の規定に基づく講習に関する規則第7章による更新時講習を次のとおり実施したので、報告書を提出します。

実 施 月 日				実 施 場 所 (講 習 会 場 名)	講 習 体 制		講習実施 責任者	備 考
月	別	開始 時間	終了 時間		講 習 指導員数	補 助 者 数		

- 注1 講習場所が複数であるとき及び講習の区分ごとに別葉とすること。
 2 規格は、A列4番横長とする。

別記第6号様式(第12条関係)

更 新 時 講 習 受 講 者 名 簿

受 講 月 日	年 月 日
氏 名	
生 年 月 日	年 月 日

注 規格は、縦5.5センチメートル、横10センチメートルとする。

別記第7号様式(第12条関係)

更新時講習業務日誌

[実施日 年 月 日]
 [講習区分]

担当者名	補助者名	会場名	講習時間	受講人員	備考

注 規格は、A列4番横長とする。